

## 東京大学文学部所蔵文書目録 (三)

文学部所蔵文書調査団

文学部所蔵文書調査団では、東京大学文学部所蔵の古文書について順次調査を行い、二〇〇三年三月に「目録(一)」を、次いで二〇〇四年三月に「8長福寺文書」調査の成果として「目録(二)」をそれぞれ本紀要に掲載した。今年度は、昨年度に引き続き「22青蓮院文書」の調査を行いその目録を作成したので、ここに「目録(三)」として公開するものである。

青蓮院は、京都市東山区粟田口三条坊町に所在し、梶井門跡(三千院)・妙法院門跡とともに天台宗三門跡と称された天台宗の名刹である。その起源は『華頂要略』(巻第三上)によれば最澄が建てた住坊の一つ青蓮坊に遡ると伝えられ、最澄の法流は円仁・安恵・相応等を経て四十八代の歴代門主に継承され今日に至っている。

その過程の中で、青蓮院には多くの古文書と台密を中心とする聖教類が残され、継承されてきた。その調査は、一八八六年(明治一九)に当時の内閣臨時修史局がはじめて採訪したのち数次にわたり実施され、東京大学史料編纂所では、影写本『青蓮院文書』(全三冊)をは

じめとする影写本・謄写本として調査の成果を公開している。また、一九五二年(昭和二七)より聖教の調査と撮影を行い、さらに一九九一年にも所蔵史料の調査・撮影を行っている。<sup>①</sup>一方、九〇年代に入り、山本信吉氏を代表とする吉水蔵聖教調査団による青蓮院吉水蔵の調査が行われ、一六二二種の吉水蔵聖教が重要文化財に指定されるとともに、目録が刊行された。<sup>②</sup>以上のような調査とそれにもとづく研究により、青蓮院所蔵の聖教類についてはようやくその一端が見えつつあるものの、文書を含めた史料群全体の調査・研究はなお今後の課題であるといえるだろう。

そして、青蓮院文書の全体像を把握するためには、寺外にもたらされて伝来した文書の調査・研究が不可欠である。本学文学部所蔵の青蓮院文書もそのような文書の一部であるが、ほかにも青蓮院旧蔵の文書をまとまった形で伝える文書群がいくつか存在する。筆者の気づいたものとしては、左記のものがある。

①東京大学史料編纂所所蔵「青蓮院文書」(貴〇四―<sup>③</sup>二)

② 東京大学史料編纂所蔵「青蓮院文書」(貴三六―一)<sup>(4)</sup>

③ 広島大学文学部日本史学研究室蔵「青蓮院文書」<sup>(5)</sup>

① は全六通の文書からなり、その内容は左記の通りである。

▽ 正応五年三月九日「後宇多上皇宸筆御消息龜山法皇御勘写」

▽ 永仁五年正月日「前天台座主慈実僧正置文写」

▽ 天台座主慈道親王親王御拝堂并御拝賀次第断簡

▽ (年未詳) 六月二日「藤原宣明奉光嚴上皇院宣」

▽ (年未詳) 六月五日「足利義満書状」

▽ 孟夏十九日「江戸重通披露状」

また②は、本稿で目録を掲げる文学部所蔵の青蓮院文書と本来一体のもので、一九〇六年(明治三九)六月に当時の文科大学と史料編纂掛が分割購入した結果、前者が現在の文学部に、後者が史料編纂所にそれぞれ所蔵されることになったものである。<sup>(6)</sup>このほか、青蓮院旧蔵と考えられる個別文書も散見される。

それでは、文学部に所蔵されている青蓮院文書は、どのような性格のものなのであろうか。以下、若干の解説を試みたい。

文学部所蔵の青蓮院文書は、今述べたように一九〇六年六月に文科大学が購入したものであり、左の八括に分類されている。

- ① 第一括 宸翰其外
- ② 第二括 公卿書状・詠草等
- ③ 第三括 諸大名書状類
- ④ 第四括 尊純法親王
- ⑤ 第五括 詠草
- ⑥ 第六括 標本類
- ⑦ 第七括 卷子

⑧ 第八括 雑文書

この分類は、購入した直後に調べられたと考えられる文科大学買上分「青蓮院文書目録」<sup>(7)</sup>の「第〇類」という分類を踏襲したものであり、購入後に文科大学によりなされた分類であろう。

このうち第一括は、天皇の宸翰と伝えられる和歌色紙や書状を中心とするまとまりである。後水尾・後西・靈元の宸翰と伝えられるものはじめ、伏見宮邦永親王の和歌懐紙など、十七世紀から十八世紀前半の文書が多い。注(2)所引「青蓮院門跡吉水藏聖教目録」附載の「青蓮院門跡歴代系譜」により当該期の青蓮院門主を示すと、次のようになる。

尊純法親王(天台座主(二度)、応胤親王子、邦房親王為子、承応二年五月二十六日寂六十三)

尊証親王(尊純資、天台座主(二度)、俗名周賢、後水尾天皇皇子、元禄七年十月十五日寂、四十四)

英 宮(伏見宮貞致親王子、元禄十一年十月六日寂、七)

尊祐親王(天台座主(四度)、伏見宮邦永親王子、靈元天皇養子、延享四年九月十六日寂、五十四)

尊英親王(伏見宮貞建親王子、桜町天皇養子、宝暦二年七月二十日寂、十六)

後水尾の皇子である尊証、伏見宮邦永親王の子で靈元の養子となった尊祐がともに長く青蓮院門主であったことを考えると、後水尾や靈元の宸翰と伝えられる文書や邦永親王の和歌懐紙が青蓮院に伝えられたのは容易に納得できよう。また、「後西天皇宸翰(三通)」の題箋を有する一巻の卷子に仕立てられている三通の書状(目録文書番号13「13」)は、第一通・第二通の端裏ウハ書、第三通の奥ウハ書に据

えられている花押の形状が帝国学士院編『宸翰英華』坤一三三四号（釈文及び解説は第二冊一八三六号）所収の京都帝国大学国史研究室所蔵「後西天皇宸筆御消息」をはじめとする後西天皇の花押と一致し、宸翰と認められるもので、「青門主」すなわち青蓮院門主を直接の宛所とするものである。後述する第四括の尊純法親王自筆の詠草類の性格からしても、文学部所蔵の青蓮院文書が門主の手に残され伝えられた文書群を含んでいることを示しているであろう。

第二括は、公家の書状を中心に和歌懷紙などを含むまとまりである。差出からやはり十七世紀から十八世紀前半と考えられるものが多く、書状の多くは青蓮院の坊官である大谷や鳥居小路を宛所とする披露状の形式をとるものが多いが、これは書札札の問題から坊官を宛所としたものである。

第二括が公家の手になる文書であるのに対し、第三括は諸大名等からの書状を一括したものである。差出は著名な松平信綱や酒井忠勝・酒井忠清・堀田正盛など、やはり十七世紀から十八世紀前半の人物が多い。坊官の大谷・鳥居小路や谷等を宛所とする披露状の形式をとることは公家からの書状と同様である。<sup>8)</sup>

第四括は、ほぼ十七世紀の前半を通して青蓮院の門主であった尊純親王の筆になる文書をまとめたもので、詠草類を中心とするものである。これらのなかには端書や端裏見返書が記されているものが多く、その和歌がいつどの様な場で詠まれ、また誰が添削を加えたものであるのかを知ることができる。尊純の和歌に合点を施した者としては八条宮智仁親王（八条殿）や中院通村（中院黄門）（中院）の名がみえ、尊純をめぐる文化圏を探る手掛かりとなるであろう。

さらに第五括の詠草類は、天正―文禄年間に遡るものも多く、いず

れも興味深いものである。

六括には江戸時代の詠草などが四七通まとめられている。顔ぶれを見ると、初期には江月宗玩、沢庵宗彭など。小沢蘆庵、湧蓮、梨木祐為、加藤千蔭、蜀山人などの十八世紀末の歌人たち。さらに加茂季鷹、伴蒿蹊、香川景樹などの幕末の国学者・文人と、実に錚々たるメンバーである。江戸時代を通じて、多様な人物が出入りしていた青蓮院周辺の文化サロンの様相が窺えよう。

七括は足利義満関係文書、「石清水八幡宮臨時祭記録」、「玄古神代大祖稟系之図」の三つからなる。まず「鹿苑院殿御書 壺八通 四卷之内」としてまとめられた足利義満関係文書が注目される。その内容は十楽院領大谷光明寺留守職、楞嚴院領坂田庄等の所領に關係文書のほか、様々な物の贈答に関する書状である。宛名は尊松、慶賀とされているが、実質的には時の青蓮院門跡尊道法親王（後伏見院の親王）に宛てた書状群であろう。慶賀丸は青蓮院の童であり、義満の許にも仕えていた。なお尊松や慶賀に宛てた道義書状は『幸田成友氏所蔵文書』にも見える。<sup>9)</sup>

「石清水八幡宮臨時祭記録」は天慶五年から寛弘八年まで各年の使・舞人・陪従・宣命、また記録の情報を集積したものであり、石清水文書『宮寺縁寺抄』臨時祭の同年分までと同じ内容となっている。本記録は奥書から元禄十一年に書写されたと推測される。

今ひとつ「玄古神代大祖稟系之図」は二〇紙に及ぶ長大な卷子であり、天兒屋根尊に始まる藤原氏各流の系図二〇種類が納められている。系図は鎌倉期の人物を下限としたものが多いが、師輔長男伊尹に始まる世尊寺流の系図は永徳元年死去の行忠までを含んでいる。また藤原冬嗣七男良仁、良世から始まる系図は「子孫南家中二注」として終わ

る。しかし該当する南家系図はこの系図集の中には見えず、元來はより大部の系図が存在したと考えられる。同様の系図は『立花家文書』の中にも見える<sup>(10)</sup>。これらがどのような必要から青蓮院で書写されることになったのかは、今後の課題であろう。

八括は雑文書とされている。中世の文書としては書状のほか、青蓮院領関係文書、系図類・勸進状・出雲国鰐淵寺規式案・足利義政追修願文案などが含まれている。確認できる年代は十四世紀半ばから十五世紀、中でも応永年中の尊道法親王に関わる文書が多数残されている。それ以外に江戸時代の諷誦文、出家記などの記録類、さらに幕末期の尊応・尊秀法親王の書状も存在する。

以上、文学部所蔵の青蓮院文書について概説してきたが、青蓮院所蔵の文書群についての調査・研究には未だ多くの課題が残されており、本目録がその一助となれば幸いである。

〔付記〕青蓮院文書の調査にあたり、新たに尹漢湧・岡林彩子・瀬尾巧・佐藤雄基が調査に加わり、また近世文書の調査については竹ノ内雅人・荒木裕行・村和明・佐藤雄介・三ツ松誠の助力を仰いだ。なお本解説は遠藤珠紀・杉山巖が執筆し、村井章介がとりまとめたものである。

(1) 史料編纂所所蔵写真帳『青蓮院所蔵史料』(全四四冊、請求番号  
Ⅱ六一七〇・六一七一)

(2) 吉水蔵聖教調査団編『青蓮院門跡吉水蔵聖教目録』(汲古書院、  
一九九九年)。

(3) 史料編纂所所蔵写真帳『青蓮院文書』(請求番号Ⅱ六一七一・六

二一一〇一)。

(4) 三三巻、一三四通。史料編纂所所蔵写真帳『青蓮院文書』(全五冊、請求番号Ⅱ六一七二・六一七三)。

(5) 猪熊信男旧蔵。松岡久人編『広島大学所蔵猪熊文書』一(福武書店、一九八二年)に翻刻。史料編纂所所蔵写真帳『青蓮院文書』(請求番号Ⅱ六一七一・六一七八九)。

(6) 東京大学史料編纂所所蔵『青蓮院文書目録』(一九〇六年。請求番号ⅡRS四一七一・六一七二)。本書は文科大学史料編纂所の用箋に記され、第一丁には文科大学宛の、第二丁には史料編纂掛宛の納品・請求書がそれぞれ写されている。

(第一丁)

〔朱書・欄外〕  
「青蓮院文書(或売卜分文書)／文科大学買上分」

記

一金九十円 〈古文書〉三巻

一金七十円 〈古文書〉二百十二通

合計金百六十円

右之通り二候也、

明治三十九年六月 日

京都市上京区千本通り二条下ル聚楽町

八百五拾番地 田村則昌

東京帝国大学文科大学

御中

(第二丁)

〔朱書・欄外〕  
「史料編纂掛(×文科大学)買上分」

記

一金七十円 〈古文書〉百三十三通

一金十円 〈古文書〉四卷

合計金百八十円

右之通りニ候也、

明治三十九年六月 日

京都市上京区千本通り二条下ル聚楽町

八百五拾番地 田 村 則 昌

東京帝国大学文科大学

御中

また、同書の二〇―二九丁にはこの時史料編纂掛が買い上げた文書の目録が付されており、現在史料編纂所に所蔵されている貴三六―「青蓮院文書」の内容と一致する。なお、本書の第三丁・第四丁には「図書館買上分」として『延相卿関東道之記』以下の典籍・文書の見積書が写されているが、これらがその後実際に買い上げられたものか否か、またその現状についての調査は今後の課題である。

(7) 注(6) 所引、東京大学史料編纂所所蔵『青蓮院文書目録』五―一九丁。この文科大買上分の目録のみ、赤色の罫線を印刷した「文科大学史料編纂掛」の用箋に記されている(他の部分は青色の罫線を印刷した「文科大学史料編纂掛」用箋)。

(8) なお、このまとまりの中で注意すべき文書として、(年未詳)七月十日付「生島道成書状」(22343)及び(年未詳)十月十六日付「酒井忠清書状」(22343)をはじめとする八条宮の家司生島氏の関連文書がある。七月十日付のものは、八条宮の家司生島宮内少輔道成が、將軍快気祝の使者下向につき老中方への取り成し

を吉良義弥に依頼したものである。また、酒井忠清の書状は生島道成に対して出された將軍と忠清自身に対する祝儀の礼状で、(年未詳)十二月七日「稲葉正則書状」(22343)とともに金剛寿院宮の八条宮家相続に関するものである。これらの文書がどのような伝来過程を経て現在青蓮院に伝わっているのか、今後の検討課題である。

(9) 史料編纂所所蔵影写本。請求番号Ⅱ三〇七一・三二六―七三。

(10) 史料編纂所所蔵写真帳。請求番号Ⅱ六一七一・九一―九六―二六。系図名、形式、人物は同じで、注記の内容は異なる。

## 【凡例】

- (1) 本目録は、文学部所蔵文書のうち「22 青蓮院文書」を対象としたものである。
- (2) 「文書番号」のハイフンで結ばれた数字は四つの階層を表し、左から順に「史料群番号—括番号—個別文書番号—枝番号」を示すものである。一つの個別文書番号に文書が一通しかない場合は、枝番号は無記入とした。紙背文書については、枝番号「紙背」または「紙背1」・「紙背2」などとした。
- (3) 「年代」はすべて10桁のアラビア数字で表示した。西暦4桁+月3桁+日3桁の順である。10世紀以前の西暦は1桁目を0とした。月の3桁目については、普通月0、閏月1とした（例、閏八月→081）。日の3桁目も通常0とし、上旬・中旬・下旬の場合にそれぞれ101・201・301として示した。年未詳の場合は9999、月日未詳の場合はともに999と表記した。
- (4) 「差出」「宛所」には文書の差出・宛所に記されているもののほか、端裏ウハ書や奥ウハ書に記されているものも載録した。また、文書の本文等から推測されるものについては（ ）で、編者の比定にかかるものについては〔 〕で括って示した。なお、改行個所には／を付し、細字で記されている部分は〈 〉で括って記した。
- (5) 「法量・紙数」は、料紙1枚ごとに縦・横の長さをセンチメートルで示した（例、3：30.7×43.9→第3紙の法量が縦30.7cm、横43.9cm）。
- (6) 「備考」には主に書状類の端裏ウハ書や奥ウハ書について、「追筆」欄の「端裏書」と区別して示した。

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
追書：靈元院震〔宸〕翰		34.9×49.9	封紙	小破	附箋：青蓮院御物
		24.5×23.4	切紙	小破	
		31.0×25.2	切紙		
		11.0×8.2	切紙	良	
		9.4×7.9	切紙	良	
		21.0×8.1	切紙	良	
		17.8×15.8	切紙	良	
	宜時分頼入候也	26.8×39.1	豎紙	良	端裏ウハ書：青門主（花押）
	無正体候也	26.8×40.0	豎紙	良	端裏ウハ書：青門主〈御報〉 （花押）
		22.0×31.3	豎紙	良	
		28.9×52.7	豎紙	良	
	歓悦無極候也	31.5×44.5	豎紙	良	端裏ウハ書：青門主〈御報〉 （花押）
端裏書：閑院〈■■■宮 汁〔什〕書〉	よく、ゝ申給へ	32.6×46.0	折紙	良	
	恐々謹言	34.1×50.0	豎紙	中破	端裏ウハ書：謹上 大谷治部 卿殿 資敦
	謹言	36.5×53.7	豎紙	良	奥ウハ書：尊酬 尚嗣
	謹言	32.5×45.5	豎紙	良	奥ウハ書：鳥居小路式部卿殿 尚嗣
	謹言	33.0×51.1	豎紙	良	奥ウハ書：青門様参之〈大進 とのへ〉 尚嗣
	謹言	34.0×51.0	豎紙	良	奥ウハ書：鳥居小路式部卿 尚嗣
	謹言	27.8×40.9	豎紙	小破	
	恐々謹言	30.7×40.5	豎紙	良	端裏ウハ書：花山院大納言殿 ／千種大納言殿 実■
	恐々謹言	30.7×41.3	豎紙	良	奥ウハ書：千種中納言殿 経 慶
端裏書：□□（藤カ）五 郎兵衛安保奉□	恐々謹言	28.6×45.0	折紙	大破	
	謹言	31.8×42.7	豎紙	良	奥ウハ書：刑部卿殿 ■玄
	謹言	31.0×42.0	豎紙	良	奥ウハ書：桜井中将殿 基長
	恐々謹言	32.4×46.6	折紙	良	
	恐々	34.4×50.2	折紙	小破	

## 22 青蓮院文書

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-1-1-1	靈元院色紙包紙	9999999999			
22-1-1-2	靈元院色紙	9999999999		(靈元院)	
22-1-2-1	後水尾院小色紙包紙	9999999999			
22-1-2-2	後水尾院小色紙	9999999999		(後水尾院)	
22-1-2-2-1	後水尾院小色紙	9999999999		(後水尾院)	
22-1-2-2-2	後水尾院小色紙	9999999999		(後水尾院)	
22-1-2-2-3	後水尾院小色紙	9999999999		(後水尾院)	
22-1-2-2-4	後水尾院小色紙	9999999999		(後水尾院)	
22-1-3-1	後西天皇書状	9999030080	3月8日	(花押)〔後西天皇〕	青門主
22-1-3-2	後西天皇書状	9999030140	3月14日	(花押)〔後西天皇〕	青門主〈御報〉
22-1-3-3	後西天皇書状	9999070060	7月6日	(花押)〔後西天皇〕	青門主〈御報〉
22-1-4	邦永親王和歌懷紙	9999999999		(中務郷〔卿〕邦永親王)	
22-1-5	後西天皇書状	9999991020	閏月2日	(花押)〔後西天皇〕	青門主〈御報〉
22-1-6	閑院宮典仁親王書状	9999110290	11月29日	典仁	青蓮院宮
22-2-1	源資敦書状	9999090150	9月15日	〔源〕資敦	大谷治部卿殿
22-2-2	近衛尚嗣書状	9999999999		〔近衛〕尚嗣	
22-2-3	近衛尚嗣書状	9999030120	3月12日	〔近衛〕尚嗣	鳥居小路式部卿殿
22-2-4	近衛尚嗣書状	9999060090	5月9日	〔近衛〕尚嗣	青門様参之〈大進とのへ〉
22-2-5	近衛尚嗣書状	9999100300	10月晦日	〔近衛〕尚嗣	鳥居小路式部卿
22-2-6	知真書状	9999999999		知真	座主〈御中〉
22-2-7	実□書状	9999020150	2月15日	実■	花山院大納言殿／千種大納言殿
22-2-8	勸修寺経慶書状	9999031150	閏3月15日	〔勸修寺〕経慶	千種中納言殿
22-2-9	熙基書状	9999110090	11月9日	熙基(花押)	〈東福寺〉永明院
22-2-10	□玄書状	9999050070	5月7日	■玄	形〔刑〕部卿殿
22-2-11	東園基長書状	9999100270	10月27日	〔東園〕基長	桜井中将殿
22-2-12	阿野實顕書状	9999020040	2月4日	〔阿野〕実顕	〈青門様え〉鳥小路殿
22-2-13	園基衡書状	9999050120	5月12日	〔園〕基衡	治部卿様



追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
	可被参候也	33.3×46.0	折紙	良	
	恐々謹言	31.2×45.8	豎紙	小破	奥裏に紙継目朱印
端裏書：鷹司政熙公	被 仰出之旨 令承知候也	31.8×45.2	折紙	良	
	誠恐謹言	44.4×32.6	折紙	小破	附箋：基福卿 園殿
		35.5×50.0	豎紙	良	
端裏書：中院		32.5×43.7	豎紙	小破	裏打あり
奥裏書：日野従一位資枝 卿〈統一覧二出也〉		20.1×44.2	切紙	中破	裏打あり
		18.7×46.4	切紙	中破	裏打あり
		35.8×50.0	豎紙	小破	
	謹言	36.4×53.3	豎紙	小破	奥ウハ書き：谷大進殿 俊定
		38.5×52.7	豎紙	良	
	恐々謹言	36.7×50.8	折紙	中破	
	恐々謹言	32.0×46.3	折紙	良	
	恐々謹言	31.8×46.1	折紙	小破	
端裏見返書：八月七日自 藤中納言到来	恐々謹言	38.3×53.6	折紙	良	
	恐惶謹言	1:16.9×35.3 2:17.0×22.0	続紙	良	
	恐惶謹言	32.4×46.0	折紙	良	
	恐惶謹言	33.5×46.3	豎紙	良	端裏ウハ書：真継右京様 〈人々御中〉 松平主殿頭〈長知〉
	恐惶謹言	31.4×44.9	豎紙	良	端裏ウハ書：大谷民部卿殿 上杉宮内大輔〈長員〉
	恐々謹言	35.5×50.6	折紙	良	
	恐々謹言	36.0×54.0	折紙	良	
	恐々謹言	36.2×51.6	豎紙	良	端裏ウハ書：大谷治部卿様 〈人々御中〉 永井監物〈白元〉
	恐々謹言	36.4×54.2	豎紙	良	端裏ウハ書：治部卿法眼御房 永井信濃守〈尚政〉
	恐惶謹言	37.0×52.4	豎紙	良	端裏ウハ書：〈拝上〉青御門 跡様〈御同宿御奏達〉 宗対馬 守〈義成〉

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-2-14	九条尚實書状	9999030290	3月29日	〔九条〕尚実	■■■中
22-2-15	法橋全圓書状	9999070220	7月22日	法橋全圓	
22-2-16	鷹司政熙書状	9999010280	正月28日	〔鷹司〕政熙	勸修寺前大納言殿／千種前中納言殿
22-2-17	園基福書状	9999040140	4月14日	〔園〕基福	御児中
22-2-18	三条公修和歌懷紙	9999999999		(前内大臣〔三条〕公修)	
22-2-19	中院通躬和歌懷紙	9999999999		(〔中院〕通躬)	
22-2-20	日野資枝詠草	9999999999		(〔日野〕資枝)	
22-2-21	冷泉前中納言書状	9999999999		れんせい前中納言	おい津とのへ〈まいる／御返事〉
22-2-22	冷泉為村和歌懷紙	9999999999		(侍従藤原為村)	
22-2-23	俊定書状	9999040110	4月11日	俊定	谷大進殿
22-2-24	白紙	9999999999			
22-3-1	松平信綱書状	9999050260	5月26日	松平伊豆守信綱(花押)	鳥居小路式部卿御房
22-3-2	吉良義弥書状	9999020280	2月28日	吉良上野介義弥(花押)	鳥小路治部卿殿
22-3-3	吉良義弥書状	9999090200	9月20日	吉良上野介義弥(花押)	〈青蓮院様〉鳥小路式部卿殿
22-3-4	吉良義弥書状	9999070270	7月27日	吉良上野介義弥(花押)	大谷治部卿法印
22-3-5	竹中重信書状	9999040210	4月21日	竹筑後守重信(花押)	
22-3-6	蔭山宗信書状	9999070350	7月晦日	蔭山土佐守宗信(花押)	法輪院様〈人々御中〉
22-3-7	松平長知書状	9999050140	5月14日	〔松平〕長知(花押)	真繼右京様〈人々御中〉
22-3-8	上杉長員書状	9999010280	正月28日	〔上杉〕長員(花押)	大谷民部卿殿
22-3-9	堀直之書状	9999080350	8月晦日	堀式部少輔直之(花押)	鳥居小路式部卿殿
22-3-10	堀田正盛書状	9999080250	8月25日	堀田加賀守正盛(花押)	大谷治部卿殿
22-3-11	永井白元書状	9999050170	5月17日	〔永井〕白元(花押)	大谷治部卿様〈人々御中〉
22-3-12	永井尚政書状	9999050220	5月22日	〔永井〕尚政(花押)	治部卿法眼御房
22-3-13	宗義成書状	9999070140	7月14日	〔宗〕義成(花押)	青御門跡様〈御同宿御奏達〉

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
	恐々謹言	19.2×52.2	切紙	良	
	恐惶謹言	19.2×52.3	切紙	良	
	恐惶謹言	18.1×48.9	切紙	良	
	恐々謹言	38.0×53.8	折紙	小破	
	恐々謹言	37.1×50.4	折紙	良	
	恐々謹言	36.4×51.1	折紙	良	
	恐々謹言	31.8×47.0	折紙	良	
	恐々謹言	31.8×47.5	折紙	良	
	恐々謹言	36.5×54.0	豎紙	良	端裏ウハ書：大谷治部卿殿 板倉内膳正〈重昌〉
	恐々謹言	36.2×53.4	折紙	良	
	恐々謹言	36.5×53.1	折紙	良	
	恐々謹言	36.1×54.2	折紙	良	
	恐々謹言	36.3×53.7	折紙	良	
	恐々謹言	36.2×54.0	折紙	良	
端裏書：板倉周防守	恐々謹言	35.8×51.5	豎紙	良	
	恐々謹言	36.5×54.3	折紙	小破	
	恐惶謹言	36.0×54.2	折紙	良	
	恐々謹言	36.6×54.2	折紙	良	
	恐々謹言	36.5×53.9	折紙	良	
	恐々謹言	35.7×52.8	折紙	良	
	恐々謹言	36.2×52.3	折紙	良	
	恐々謹言	36.6×53.7	折紙	良	
	恐々謹言	40.5×56.4	折紙	良	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-3-14	酒井忠清書状	9999100160	10月16日	酒井雅楽頭忠清（花押）	生嶋宮内少輔殿
22-3-15	永井直清書状案	9999010999	正月	永井日向守〔直清〕	堀田対馬守様／稲葉石見守様／秋元摂津守様／人々御中
22-3-16	永井直種書状案	9999030999	3月日	永井近江守〔直種〕	宗対馬守〔義成〕様〈貴報人々御中〉
22-3-17	松平勝総書状	9999030040	3月4日	松平出雲守勝総（花押）	鳥少路式部卿法印
22-3-18	松平勝総書状	9999080230	8月23日	松平出雲守勝総（花押）	大谷治部卿殿
22-3-19	松平勝総書状	9999090040	(寛永18年)9月4日	松平出雲守勝総（花押）	大谷治部卿法印
22-3-20	板倉重昌書状	1641020210	2月21日	板倉内膳正重昌（花押）	大谷治部卿殿
22-3-21	板倉重昌書状	9999120180	12月18日	板倉内膳正重昌（花押）	大谷治部卿殿
22-3-22	板倉重昌書状	9999030280	3月28日	〔板倉〕重昌（花押）	大谷治部卿殿
22-3-23	板倉重宗書状	9999050030	5月3日	板倉周防守重宗（花押）	治部卿殿
22-3-24	板倉重宗書状	9999040200	4月20日	板倉周防守重宗（花押）	治部卿殿〈人々まいる〉
22-3-25	板倉重宗書状	1632010200	(寛永9年)正月20日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-26	板倉重宗書状	9999090130	9月13日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-27	板倉重宗書状	9999050010	5月1日	板倉周防守重宗（花押）	治部卿殿
22-3-28	板倉重宗書状	9999060020	6月2日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿／鳥居少路式部卿／谷大進〈参〉
22-3-29	板倉重宗書状	9999080080	8月8日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-30	板倉重宗書状	9999030290	3月29日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-31	板倉重宗書状	9999021260	閏2月26日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-32	板倉重宗書状	9999100110	10月11日	板倉周防守重宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-33	板倉勝重書状	9999050040	5月4日	板倉伊賀守勝重（花押）	鳥少路治部卿殿
22-3-34	酒井忠勝書状	9999020250	2月25日	酒井讃岐守忠勝（花押）	鳥小路式部卿殿
22-3-35	酒井忠勝書状	9999080290	8月29日	酒井讃岐守忠勝（花押）	大谷治部卿殿
22-3-36	酒井忠勝書状	9999080170	8月17日	酒井讃岐守忠勝（花押）	大谷治部卿

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
	恐々謹言	36.4×53.8	折紙	良	
	恐々謹言	36.5×53.2	折紙	良	
	恐々謹言	36.2×53.8	折紙	良	
	恐惶謹言	36.7×50.0	豎紙	良	端裏ウハ書：安都性■様〈人々御中〉 保科肥後守〈正之〉
	恐々謹言	35.9×53.4	豎紙	小破	端裏ウハ書：青院〈机下〉 水中納言
	恐惶謹言	31.6×43.8	折紙	良	
	恐惶謹言	35.4×52.6	折紙	良	
	恐々謹言	32.0×47.1	折紙	良	
端裏書：金剛寿院宮御家督之時、関東御使之御書状	恐々謹言	37.2×51.6	折紙	良	
	恐々謹言	36.0×54.0	折紙	良	
	恐々謹言	40.4×56.1	折紙	良	
	恐惶謹言	36.6×54.2	折紙	良	
	恐々謹言	37.1×54.5	折紙	良	
	誠恐謹言	43.4×57.4	折紙	良	
	恐惶謹言	40.5×55.5	折紙	小破	
	恐惶謹言	39.8×56.5	折紙	良	
	恐惶謹言	1:29.6×6.1 2:29.6×28.0 3:29.7×7.8	続紙	良	モト端裏ウハ書：松平内匠様〈人々御中〉 久世大和守〈広之〉、○原文書の端を切断し、端裏書を表にして本紙の次に貼り継ぐ、
端裏書：加州候	恐々謹言	21.2×49.0	切紙	良	
端裏書：賀州	恐々謹言	20.8×49.2	切紙	良	
端裏書：加賀少将	恐々謹言	20.0×48.2	切紙	良	
	恐々謹言	34.0×49.1	折紙	良	
	恐惶謹言	36.1×53.5	折紙	良	端裏ウハ書：青蓮院御門跡様〈参御同宿奏達〉
	恐惶謹言	33.4×49.8	折紙	良	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-3-37	酒井忠勝書状	9999070170	7月17日	酒井讃岐守忠勝（花押）	鳥小路式部卿殿
22-3-38	松平信綱書状	9999120280	12月28日	松平伊豆守信綱（花押）	鳥小路式部卿殿
22-3-39	松平信綱書状	9999090030	9月3日	松平伊豆守信綱（花押）	隠岐駿河守殿
22-3-40	保科正之書状	9999120100	12月10日	〔保科〕正之（印）	安都性□様〈人々御中〉
22-3-41	徳川□□書状	9999050080	5月8日	■■■	青院〈机下〉
22-3-42	片桐貞俊書状	9999060040	6月4日	片桐石見守貞俊（花押）	大谷治部卿殿
22-3-43	生島道成奉書	9999070100	7月10日	生島宮内少輔道成	吉良上野介様〈人々御中〉
22-3-44	太田資宗書状	9999120180	12月18日	太田備中守資宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-45	稲葉正則書状	9999120070	12月7日	稲葉美濃守正則（花押）	生島玄蕃頭殿
22-3-46	酒井忠世書状	9999020010	2月1日	厩橋侍従忠世（花押）	大谷治部卿殿
22-3-47	松平乗寿・牧野信成連署書状	9999090190	9月19日	松平和泉守乗寿（花押）／牧野内匠頭信成（花押）	大谷治部卿
22-3-48	松平忠英書状	9999090170	9月17日	松平阿波守忠英（花押）	青門様 院家御方
22-3-49	本多正純書状	9999070050	7月5日	本多上野介正純（花押）	広橋大納言殿／勸修寺中納言殿
22-3-50	徳川宗直書状	9999080190	8月19日	紀伊宰相宗直（花押）	青蓮院御門跡〈参尊報〉
22-3-51	松平忠直書状	9999051160	閏5月16日	越前宰相忠直（花押）	青蓮院様〈参尊報〉
22-3-52	徳川頼宣書状	9999110170	11月17日	紀伊大納言頼宣（花押）	青蓮院殿〈貴報〉
22-3-53	久世広之書状	9999050060	5月6日	〔久世〕広之（花押）	松平内匠様〈人々御中〉
22-3-54	前田綱紀書状	9999060040	6月4日	加賀宰相綱（花押）	生島宮内少輔殿
22-3-55	前田吉治書状	9999120160	12月16日	加賀中将吉治（花押）	生島宮内権少輔殿／生島主膳正殿
22-3-56	前田綱利書状	9999080280	8月28日	加賀少将綱利（花押）	生島玄蕃殿
22-3-57	太田資宗書状	9999010260	正月26日	太田備中守資宗（花押）	大谷治部卿殿
22-3-58	宗義朝書状	9999120220	12月22日	宗対馬守義朝	青蓮院御門跡様〈参御同宿奏達〉
22-3-59	青木義継書状	9999030210	3月21日	青木遠江守義継（花押）	岡本丹波様／生嶋大学様

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
	恐々謹言	35.0×49.2	折紙	良	
	恐々謹言	32.4×45.8	折紙	良	
	誠恐謹言	40.6×56.1	折紙	良	
	宗翰恐惶謹言	42.0×56.7	折紙	良	
端書：元和六十二十九 〈尊勝院極官之事／廣前 内府へ状案〉	恐々謹言	35.7×53.3	豎紙	良	附箋：尊純親王御文
端書：〔×慶〕元和元年 八月、公宴御月次、八條 殿合点		35.0×49.3	豎紙	良	
端書：元和九二月廿二、 水無瀬殿御法事〈中院合 点〉		31.4×48.8	豎紙	良	
端書：元和十 正月、公宴 御会始〈中院黄門合点〉		34.5×46.6	豎紙	良	
端書：寛永二 二 廿四、 公宴御月次〈中院黄門合 点〉		1:32.4×46.3 2:32.1×46.6	豎紙	良	
端裏見返書：元和九 十 廿四、公宴御月次〈李 部王御合点〉		36.0×52.8	折紙	良	
端書：竹門跡、堂廟法事 〈元和八七〉		35.2×49.4	折紙	良	
端書：元和九二廿五〈於 竹門跡／堂廟法事〉		35.9×53.9	折紙	良	
端書：元和九十二四日 〈天神講／中院中納言合 点〉、端裏見返書：詠草 〈中院中納言合点〉、		35.9×52.5	折紙	良	
端書：元和十 正 廿五、 竹門跡法事〈式部卿宮／ 御合点〉、端裏見返書：詠草		35.9×53.3	折紙	良	
端裏見返書：元和十二廿 五〈公宴聖廟御法事／中 院黄門合点〉		35.6×53.8	折紙	小破	
		29.7×45.0	豎紙	良	
		18.0×54.0	切紙	良	
		18.0×54.0	切紙	良	
		15.5×43.8	切紙	良	附箋：尊純親王道寄

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-3-60	安藤直次書状	9999020220	2月22日	安藤帯刀直次（花押）	大谷治部卿殿
22-3-61	島津久雄書状	9999020100	2月10日	嶋津中務久雄（花押）	伊集院主水殿／土持権兵衛殿〈御宿所〉
22-3-62	徳川義直書状	9999090100	9月10日	尾張大納言義直（花押）	〈青蓮院殿〉御坊官中
22-3-63	徳川宗翰書状	9999030080	3月8日	水戸宰相宗翰（花押）	青蓮院御門主〈御坊官中〉
22-4-1	青蓮院宮尊純 法親王書状土 台	1620120190	元和6年12 月19日	尊純	廣橋前内府〔兼勝〕殿
22-4-2	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1615080999	元和元年8 月日	（尊純）	
22-4-3	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1623020220	元和9年2 月22日	（尊純）	
22-4-4	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1624010999	元和10年正 月	（尊純）	
22-4-5	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1625020240	寛永2年2 月24日	（尊純）	
22-4-6	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1623120040	元和9年12 月4日	（尊純）	
22-4-7	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1622070999	元和8年7 月	（尊純）	
22-4-8	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1623020250	元和9年2 月25日	（尊純）	
22-4-9	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1623120040	元和9年12 月4日	（尊純）	
22-4-10	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1624010250	元和10年正 月25日	（尊純）	
22-4-11	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1624020250	元和10年2 月25日	（尊純）	
22-4-12	青蓮院宮尊純 法親王カ詠草	9999999999			
22-4-13	青蓮院宮尊純 法親王詠草	9999999999		（尊純）	
22-4-13	青蓮院宮尊純 法親王詠草	9999999999		（尊純）	
22-4-14	青蓮院宮尊純 法親王詠草	9999999999		（尊純）	



追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
端書：寛永十七 二 廿五〈中□殿合点〉		17.0×51.8	切紙	小破	
端書：寛永十四 二 晦〈仙洞五十首御当座〉		34.9×51.2	折紙	小破	
		36.3×50.0	折紙	小破	
		36.6×53.5	折紙	良	
端書：寛永三六〈中院黄門合点〉		35.8×53.5	折紙	良	
端書：慶長十八六月御月次		35.7×53.5	豎紙	良	
端書：慶長十七六〔×七〕廿五御月次		35.9×53.3	豎紙	良	
		24.7×38.3	豎紙	中破	
		24.7×41.0	豎紙	良	
端裏見返書：天正十九八晦		29.7×44.5	折紙	小破	
奥上追書：詠草		32.1×46.0	豎紙	小破	
		17.8×50.0	切紙	小破	
		28.0×40.5	折紙	良	
		23.0×27.8	豎紙	良	
		32.8×43.4	豎紙	良	
		35.0×49.2	豎紙	良	奥書：竹溪院卅三廻勸進之間詠草 寛永十九三廿五
端裏見返書：元和十、公宴御会始		35.8×53.8	折紙	良	
端裏見返書：仙洞御会始		35.9×53.7	折紙	良	
端書：当月晦日、未明 端裏書：漢和一順		34.8×48.2	豎紙	良	
奥追書：慶長十八七、御月次		35.7×39.0	豎紙	良	
		36.6×51.9	折紙	小破	
		32.6×45.7	豎紙	小破	
		32.4×44.6	豎紙	小破	
		36.0×48.4	豎紙	小破	
		32.3×44.5	豎紙	小破	
		32.6×45.2	豎紙	良	
		31.4×23.6	豎紙	良	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-4-15	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1640020999	寛永17年 2 月	(尊純)	
22-4-16	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1637020350	寛永14年 2 月晦日	(尊純)	
22-4-17	青蓮院宮尊純 法親王詠草	9999999999		(尊純)	
22-4-18	青蓮院宮尊純 法親王詠草	9999999999		(尊純)	
22-4-19	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1626060999	寛永 3 年 6 月	(尊純)	
22-4-20	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1613060999	慶長18年 6 月	(尊純)	
22-4-21	青蓮院宮尊純 法親王詠草	1612060250	慶長17年 6 月25日	(尊純)	
22-5-1	七夕詠草	1585070070	天正13年 7 月 7 日		
22-5-2	名号冠歌	1580070100	天正 8 年 7 月10日		
22-5-3	尊跡詠草	1591080350	天正19年 8 月晦日		
22-5-4	某詠草	9999999999			
22-5-5	某詠草	1595120250	文禄 4 年12 月25日		
22-5-6	堯盛等詠草	9999999999			
22-5-7	某詠草	9999999999			
22-5-8	某詠草	9999999999			
22-5-9	竹溪院卅三廻 観進詠草断簡	1642030025	寛永19年 3 月25日		
22-5-10	公宴御会始詠 草	1624999999	元和10年		
22-5-11	仙洞御会始詠 草	9999999999			
22-5-12	和漢連句	9999999350	晦日		
22-5-13	月次詠草	1613070999	慶長18年 7 月		
22-5-14	屏風和歌写	9999999999			
22-6-1-1	加茂季鷹字賛 詠草	9999999999		[加茂] 季鷹戯書 (印)	
22-6-1-2	加茂季鷹懐紙	9999999999		[加茂] 季鷹	
22-6-1-3	加茂季鷹画賛	9999999999		七十五対 [加茂] 季鷹 戯画賛 (印)	
22-6-1-4	加茂季鷹詠草	9999999999		[加茂] 季鷹	
22-6-1-5	加茂季鷹詠草	9999999999		[加茂] 季鷹	
22-6-2-1	大徳寺大綱詠 草	9999999999		大綱	

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
		35.2×45.8	豎紙	良	
		35.4×45.6	豎紙	良	
		32.0×43.8	豎紙	良	
		31.3×42.6	豎紙	良	
		30.8×44.1	豎紙	良	
		31.4×46.7	豎紙	良	
		31.4×20.3	切紙	良	
		32.5×44.3	豎紙	良	
		49.8×34.5	豎紙	良	
		49.4×34.5	豎紙	良	
		49.8×34.5	豎紙	良	
		50.0×34.5	豎紙	良	
		50.4×34.3	豎紙	良	
		50.0×34.5	豎紙	小破	
		50.0×34.4	豎紙	小破	
		32.5×60.5	豎紙	小破	
付箋：昌佐りのや	恐惶謹言	30.8×43.0	豎紙	小破	
		27.7×18.9	切紙	良	
		24.2×32.9	豎紙	良	
	恐々謹言	28.4×41.4	豎紙	中破	端裏ウハ書：法輪院 臨門齋 〈玄仲〉
		32.4×39.9	豎紙	小破	
		31.1×48.4	豎紙	良	
		24.4×33.2	豎紙	中破	
押紙：沢庵和尚筆		30.3×65.7	豎紙	良	
		23.7×16.5	切紙	良	
		31.6×43.2	豎紙	良	端裏ウハ書：大徳江月大和尚 状
		30.8×31.5	豎紙	良	
	謹復	36.3×39.0	豎紙	小破	奥ウハ書：渡辺小中様愚報 皆川文蔵
		1:32.4×24.9 2:32.5×24.9 3:32.4×24.8 4:25.0×15.5	続紙		4紙を仮綴

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-6-2-2	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-3	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-4	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-5	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-6	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-7	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-8	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-2-9	大徳寺大綱詠草	9999999999		大綱	
22-6-3-1	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-3-2	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-3-3	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-3-4	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-3-5	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-3-6	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-3-7	梅庵書	9999999999		梅庵	
22-6-4	某筆画稿	9999999999			
22-6-5	佐川昌佐書状	9999999999		〔佐川〕昌佐	森大学殿
22-6-6	某詠草	9999999999		■■■	
22-6-7	かミ園制札写	9999999999			
22-6-8	臨門庵玄仲書状	9999080110	8月11日	(花押)・臨門庵玄仲	法輪院
22-6-9	烏丸光廣懷紙	9999999999		〔烏丸〕権大納言光廣	
22-6-10	某懷紙	9999999999			
22-6-11	某起請文	9999999999			
22-6-12	沢庵宗彭詩并序	1645051070	正保2年閏5月7日	前住大徳見東海比丘沢庵叟染毫老齡七十三	
22-6-13	香川景樹詠草	9999999999		〔香川〕景樹	
22-6-14	江月宗玩書状	9999060010	6月1日	大徳江月大和尚	
22-6-15	詠草	9999999999			
22-6-16	皆川文蔵尺牘	9999070100	7月10日	(花押)・皆川文蔵	渡邊小中様 愚報
22-6-17	蒿蹊詠草類	9999999999			

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
		32.4×24.9	豎紙	良	
		32.5×24.9	切紙	良	
		32.4×24.8	切紙	大破	
		25.0×15.5	切紙	良	
端裏書：□□□ 沙門		29.2×57.5	豎紙	良	
		18.3×47.4	切紙	良	
		31.4×23.5	切紙	良	
		39.3×37.8	切紙	良	
		24.9×31.8	豎紙	小破	
		32.5×44.5	豎紙	小破	
		32.3×44.7	豎紙	小破	
		39.3×51.4	豎紙	良	日付：庚寅冬
		24.5×38.2	豎紙	良	
		包:37.7×43.4 表:34.2×25.0 1:34.5×50.0 2:35.1×48.1 3:34.0×50.0 4:33.3×47.9 5:32.8×45.7 6:33.8×50.2 7:33.3×48.2 8:33.9×47.8 9:33.7×47.9 10:33.4×46.7 11:33.1×46.0 12:33.6×47.2 13:33.2×47.3 14:33.2×45.6	豎紙	中破	
押紙：足利義滿公御書 十楽院領之事、式通、尊 応親王号也	道義誠恐敬白	34.5×50.0	豎紙	小破	
	恐惶謹言	35.1×48.1	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	34.0×50.0	豎紙	良	
	恐惶敬白	33.3×47.9	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	32.8×45.7	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33.8×50.2	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33.3×48.2	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33.9×47.8	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33.7×47.9	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33.4×46.7	豎紙	良	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-6-17-1	伴蒿蹊詠草	9999999999		〔伴〕 蒿蹊	
22-6-17-2	伴蒿蹊詠草	9999999999		〔伴〕 蒿蹊	
22-6-17-3	伴蒿蹊詠草	9999999999		〔伴〕 蒿蹊	
22-6-17-4	伴蒿蹊詠草	9999999999		〔伴〕 蒿蹊	
22-6-18	蜀山人書	9999999999		蜀山人（「南畝」印）	
22-6-19	涌蓮懷紙	9999999999		涌蓮〈上〉	
22-6-20	加藤千蔭詠草	9999999999		〔加藤〕 千蔭	
22-6-21	林道春懷紙	9999999999		〔林〕 道春	
22-6-22	筇斎書	9999999999		筇斎書	
22-6-23	梨木祐為詠草	9999999999		〔梨木〕 祐為	
22-6-24	小沢盧庵懷紙	9999999999		〔小沢〕 盧庵	
22-6-25	吸江斎画賛	9999999999		吸江斎	
22-6-26	恵心一流教行証	1645120300	正保2年12月晦日	天台沙門祐見示之	
22-7-1-0	鹿苑院殿御書	9999999999			
22-7-1-1	足利義満書状	1399060240	応永6年6月24日	道義〔足利義満〕	尊松殿
22-7-1-2	某書状	9999999999			
22-7-1-3	足利義満書状	9999070060	7月6日	道義〔足利義満〕	尊松殿
22-7-1-4	某書状	9999999999			
22-7-1-5	足利義満書状	9999110150	11月15日	道義〔足利義満〕	尊松殿
22-7-1-6	足利義満書状	9999070280	7月28日	道義〔足利義満〕	
22-7-1-7	足利義満書状	9999080280	8月28日	道義〔足利義満〕	慶賀殿
22-7-1-8	足利義満書状	9999060190	6月19日	道義〔足利義満〕	慶賀殿
22-7-1-9	足利義満書状	9999010260	正月26日	道義〔足利義満〕	
22-7-1-10	足利義満書状	9999120260	12月26日	道義〔足利義満〕	

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
	道義誠恐敬白	33. 1 × 46. 0	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33. 6 × 47. 2	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33. 2 × 47. 3	豎紙	良	
	道義誠恐敬白	33. 2 × 45. 6	豎紙	良	
押紙：寛弘八年 自天慶 五至天祿		1:29.7×23.8 2:29.8×43.7 3:30.0×29.8 4:29.9×14.6 5:29.9×45.7 6:29.9×24.7 7:29.9×16.3 8:29.9×29.5 9:29.9×11.5 10:29.9×34.0 11:29.8×45.4 12:29.9×45.4 13:29.9×40.3 14:29.8×8.8 15:29.9×32.2 16:29.9×13.6 17:30.0×27.5 18:30.0×18.3 19:30.0×22.7 20:29.9×23.2 21:29.9×18.0 22:29.9×27.9 23:30.0×13.3 24:30.0×32.8 25:29.8×8.2 26:29.9×37.5 27:30.0×3.7 28:29.9×42.0 29:29.8×38.8 30:29.9×6.9 31:29.9×45.6 32:30.0×40.4 33:29.9×16.7 34:29.9×45.5 35:30.0×45.6 36:30.0×45.6 37:30.0×45.5 38:29.8×45.4 39:29.7×20.0	続紙	良	
押紙：行清〈二十九才〉 森大学		1:30.0×42.7 2:30.2×44.2 3:30.2×42.3	続紙	良	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-7-1-11	足利義満書状	9999070010	7月1日	道義〔足利義満〕	
22-7-1-12	足利義満書状	9999060290	6月29日	道義〔足利義満〕	
22-7-1-13	足利義満書状	9999110150	11月15日	道義〔足利義満〕	
22-7-1-14	足利義満書状	9999110160	11月16日	道義〔足利義満〕	
22-7-2	石清水八幡宮 臨時祭記録	1698090110	元禄11年9 月11日		
22-7-3	玄古神代大祖 稟系之図	9999999999			



追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
		4:30.2×43.0 5:30.3×40.4 6:30.2×43.1 7:30.3×43.4 8:30.2×44.2 9:30.2×41.5 10:30.2×42.8 11:30.3×44.8 12:30.2×43.8 13:30.3×43.8 14:30.4×45.2 15:30.3×44.5 16:30.3×45.4 17:30.4×45.4 18:30.3×45.3 19:30.2×44.7 20:30.3×45.7 21:30.3×45.6 22:30.0×9.8			
	恐惶謹言	36.0×52.2	豎紙	良	端裏ウハ書：正覚庵人々御中 脇淡路守〈安元〉
端裏書：知恩院勸進状 〈愚筆、同御書〉公明	敬白	1:31.6×43.9 2:32.0×44.3 3:32.0×43.8 4:32.0×35.5 5:31.7×18.3	続紙	良	
	某誠恐謹言	26.0×37.0	豎紙	良	
	恐々謹言	26.2×39.4	豎紙	良	
	恐々謹言	26.1×37.8	豎紙	良	
		1:26.8×63.8 2:26.8×30.0 3:26.6×33.5	続紙	小破	
	誠恐謹言	25.2×17.1	切紙	良	
付箋：尊道親王御■	仍下知如件	1:31.6×38.6 2:31.7×39.8	豎紙	良	
付箋：能登国 無動寺修理料 応永六年六月	恐々謹言	30.5×47.5	豎紙	小破	
端裏書：伯州山守庄代官 請状	仍請文之状如件	31.2×48.4	豎紙	中破	
端裏書：請文案 中堂修 造間本尊可有遷座哉否事 勘例	仍執啓如件	封:36.4×30.0 1:32.2×49.1 2:32.2×48.3	続紙	良	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-8-1	脇坂淡路守安元書状	9999080180	8月18日	〔脇坂〕安元（花押）	正覚庵 人々御中
22-8-2	知恩院堂舎再建沙門公明（カ）敬白文案	1517120080	永正14年12月8日	勸進沙門敬白	
22-8-3-1	某書状、某勘返	9999060220	6月22日	■■■、■■■	
22-8-3-2	尊鎮法親王書状、某勘返	999010220	正月22日	■■■、■■■	附箋：尊鎮法親王御文
22-8-3-3	尊鎮法親王書状	9999070220	7月22日	■■■	
22-8-3-4	某書状	9999999999		尊■■	
22-8-3-5	尊鎮法親王書状	9999070220	7月22日	■■■	
22-8-4	出雲国鱒淵寺規式案	1402100090	応永9年10月9日	別当権大僧都判／権僧正法印大和尚位判／法印大和尚位判／法眼和尚位判／袖判〔尊道親王〕	
22-8-5	某書状	1399060230	応永6年6月23日	■■■	常楽院大僧都御房
22-8-6	田原清高請文	1396020999	応永3年2月日	〔田原〕前信濃守清高（花押）	
22-8-7	慈珍請文案	9999050190	5月19日	前大僧正慈珍〈奉〉	

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
端裏書：准三宮贈大相国 追修願文案 大永元十二 点	敬白	1:33.4×49.7 2:33.4×49.8 3:33.4×50.5	続紙	中破	
端裏書：御教書案 山守 庄事 奉行飯尾加賀入道 付箋：青蓮院宮、伯耆国、 応永■■■	仍執達如件	31.3×42.4	豎紙	小破	
端裏書：経豪法印筆歟	仍執達如件	29.2×47.0	豎紙	良	
端裏書：実助世系 付箋：九条殿／宇多源氏 ／天台座主実助世系		1:26.8×30.3 2:26.8×41.7 3:26.9×44.0 4:30.4×44.0 5:30.3×43.2	豎紙	小破	
附箋：定法寺御綸帡	依天氣言上如 件	封:45.4×31.2 32.5×46.8	豎紙	良	端裏ウハ書：進上定法寺僧正 御房 右少弁益光
附箋：尊心親王御文	心得候へく候	25.9×32.5	豎紙	大破	
端裏書：廬山寺系図		36.0×50.2	豎紙	良	奥書：天和第四稔仲秋念有七 之天廬山寺之靈宝以称名院自 筆之本写畢
端裏書：長州赤間関	恐惶謹言	1:26.8×41.0 2:27.1×41.1	続紙	小破	奥ウハ書：鳥居小路大藏卿様 阿弥陀寺〈尊秀〉
	弥可尽奉公之 忠劳之状如件	1:29.3×40.0 2:29.3×41.4 3:29.3×43.3	続紙	良	
	仍重勒子細之 状如件	1:29.3×42.7 2:29.3×19.0 3:29.3×21.7	続紙	良	
端裏ウハ書：左京大夫殿 尊玄（花押）		1:30.9×48.6 2:30.9×49.4	続紙	中破	
	仍執達如件	29.8×48.1	豎紙	良	
端裏書：武州東叡山鐘銘 〈道春作〉		1:34.8×43.3 2:34.8×44.0	続紙	良	
端裏書：後陽成院御忌 諷誦 寛永元八廿六 東 坊城大内記草、予清書	円成敬白	43.5×66.0	豎紙	良	
端裏書：天文十一年一広 橋大納言被書之、 押紙：寄一系図 広橋大 納言筆 天文十一年		32.3×47.8	豎紙	良	
端裏書：八幡善法寺得度 記〈寛文三十一廿六〉		1:27.9×40.2 2:27.8×40.8 3:27.8×40.7 4:27.9×40.9 5:27.9×40.7	続紙	小破	

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-8-8	足利義政追修願文案	1521120999	大永元年 2月日		
22-8-9	室町幕府奉行人奉書案	1395120290	応永 2 年12月29日	沙弥 (花押)	山名右馬頭殿〔山名氏冬カ〕
22-8-10	法印経豪(カ)奉書	1400090230	応永 7 年 9月23日	法印〔経豪カ〕(花押)	謹上 安居院法印御房
22-8-11	天台座主実助世系	9999999999			
22-8-12	後花園天皇繪旨	9999120190	(享徳 2 年) 12月19日	左少弁〔烏丸〕益光	進上 定法寺僧正御房
22-8-13	尊応法親王書状	9999040090	4 月 9 日	(花押)〔尊応〕	■■■■谷法印御房
22-8-14	廬山寺系図	1618080070	元和 4 年 8月 7 日		
22-8-15	尊秀法親王書状	9999110020	11月 2 日	尊秀 (花押)、阿弥陀寺尊秀	鳥居少路大藏卿様
22-8-16-1	尊道法親王書状	1372080030	応安 5 年 8月 3 日	座主阿闍梨 (花押)〔尊道〕親王	
22-8-16-2	尊道法親王書状	1386120230	至徳 3 年12月23日	座主阿闍梨 (花押)〔尊道〕親王	
22-8-17	尊玄法親王書状・左京大夫某勘返(後欠)	9999999999		尊玄	左京大夫殿
22-8-18	青蓮院門主義円御教書	1409030110	応永16年 3月11日	法眼〔義円〕(花押)	謹上 法輪院大僧都御房
22-8-19	寛永寺鐘銘并序案	1631100999	寛永 8 年10月日	従四位佐倉侍従藤原朝臣利勝	
22-8-20	円成諷誦文	1624080260	寛永元年 8月26日	(円成)	
22-8-21	高階系図	1542110999	天文11年11月 日		
22-8-22	善法寺英清出家記	1663110260	寛文 3 年11月26日		

追 筆	書 止	法量・紙数	形態	状態	備 考
	次書愚按以奉呈	29.3×91.6	豎紙	良	
付箋：天正諷誦文 ■■■ ■	仍諷誦所修如件	1:33.3×50.8 2:33.3×50.8	続紙	良	
	恐々謹言	27.3×43.7	折紙	小破	
		27.1×35.6	豎紙	小破	
		26.4×39.7	豎紙	中破	
		26.3×42.2	豎紙	中破	
	右是存承候也	33.0×43.9	折紙	良	
		29.2×41.1	豎紙	良	奥ウハ書：■■■中 俊■
		26.8×43.0	豎紙	大破	
端裏書：文明十二 院号 事申入		39.1×24.9	豎紙	小破	奥ウハ書：進上山御奉行所 北坂坊頼尊
端裏書：天文十二大宮 ノ官下知之		35.1×24.4	豎紙	中破	端裏ウハ書：一官掌殿 左少 史通昭

文書番号	文書名	年代	和暦	差 出	宛 所
22-8-23	姉小路相公恙状并進剂略録	9999999999		杉山信良蔵頓首	
22-8-24	某諷誦文	1592010220	天正20年正月22日	信心施主敬白	
22-8-25	玉井宣頼書状	9999101230	閏10月23日	玉井壱岐守宣頼（花押）	三好筑前守殿 参御報
22-8-26	某消息	9999999999			
22-8-27-1	某消息	9999999999			
22-8-27-2	某消息	9999999999			
22-8-28	兼敦書状	9999010230	正月23日	兼敦	桜井殿
22-8-29	平等房領山城国大原西庄関係文書（後欠）	9999999999		俊■	
22-8-30	某状断簡	9999999999			
22-8-31-1	頼尊書状封紙	1480999999	文明十二年	北坂坊頼尊	山上御奉行所
22-8-31-2	大宮通昭書状封紙	1541020020	天文10年2月2日	左少史〔大宮〕通昭	一官掌殿